特集 とうきょうの計量 No.255

都計協

2017年度定時総会開催

6月2日、グランドヒル市ヶ谷で

東京都計量協会は6月2日、新宿区市谷本村町4－1、ホテルグランドヒル市ヶ谷で2017（平成29）年度定時総会を開催した。議題は16（平成28）年度事業報告、同収支決算報告および理事・監事の役員改選。

また、17（平成29）年度事業計画および同収支予算の報告があった。

今後の重点的な事項として、事業計画において、東京都、教育機関と協力して義務教育の中に、生活と産業を支える計量計測の親しみを育むカリキュラムをこれまでの「出前計量教室」の実績・成果を尊重しつつ導入をおこなうとの報告がなされた。

東京都計量協会総会のようす

清宮会長

来賓として、林久美子所長、大野正隆副所長、日本計量振興協会村松徳治常務理事、日本計量器工業連合会田口佳代子業務部課長、日本科学機器協会矢澤英人会長、東京都計量証明事業協会石原清史会長、計量器コンサルタント協会石井康二会長、日本硝子計量器工業協同組合横山守二理事長、東京計量士会増永義雄副会長、日本計量新報社横田俊英代表取締役の臨席があった。会員は48名が参加。

総会終了後は恒例の懇親パーティがあり、和やかに情報交換をした。

懇親パーティのようす

東京都計量協会 計量管理研究部会報告

■2017（平成29）年度定時総会開催

東京都計量協会の計量管理研究部会は、17（平成29）年5月26日、15時より17（平成29）年度定時総会を開催した。

【議題】▽16（平成28）年度事業報告▽16（平成28）年度収支決算報告▽監査報告▽17（平成29）年度事業計画▽（17（平成29）年度収支予算▽役員改選

16（平成28）年度事業報告と収支決算報告は、例年通り2大事業である適正計量管理主任者養成講習会と計量管理強調月間「標語」の選出および短冊の作成・配布を含む全事業が計画通りの進行であったことが示された。

■2017（平成29）年度上半期の事業予定

▽4月21日＝第1回運営会議開催▽5月26日＝（平成29）年度定時総会開催▽6月23日＝第2回運営会議開催予定▽7月14日㈮＝適正計量管理主任者養成講習会（生産関係）開催予定▽9月22日㈮＝第3回運営会議開催予定

夏期の商品量目立入検査

商品が正しく量られているか検査をおこないます。

東京都計量検定所では、中元期にあわせて、販売されている食料品の「表示された内容量」と「実際の内容量」との差が計量法で定められた許容誤差内にあるか、および「内容量」「計量単位」「事業所名・住所」の表記が正しいかを確認するため、「夏期の商品量目立入検査」を次のとおり実施している。

【実施期間】2017（平成29）年6月1日から7月14日㈮まで

【検査事業所数】約180事業所（スーパーマーケット・一般小売店［駅ビル・駅ナカ含む］・食品製造所等）

【検査対象】主に食肉・魚介・青果・惣菜等で、内容量を表記した特定商品

【検査結果の公表】9月中旬頃

なお、許容誤差を超えて内容量が不足している商品は不適正商品とし、その場で関連する商品すべての再計量を指示するとともに改善指導をおこなう。

また、不適正商品が多い事業所は、必要に応じて再度立入検査を実施し、改善されていない場合には、計量法に基づき「改善勧告」、「事業者名の公表」および「改善命令」等をおこなう。

http://www.tokeikyo.or.jp/

部会・団体だより

東京計量士会

2017（平成29）年度（第18回）定時総会が、5月19日、東武ホテルレバント東京「芙蓉の間」で開催された。総会は、第1号議案「16（平成28）年度事業報告」、第2号議案「同決算報告」、第3号議案「17（平成29年度事業計画（案）」第4号議案「同収支予算（案）」第5号議案「役員改選」を審議し原案どおり承認された。

新役員氏名は次のとおり。【会長】▽小林悌二【副会長】▽大岡紀美子▽桑山重光▽増永義雄【常任理事】▽中村四郎▽檜林功▽徳美恵子▽市村玲▽溝口義浩▽竹添雅雄【理事】▽高徳芳忠▽小林勇▽千田好友▽大木朗▽田中正憲▽吉田俊夫▽池上正夫▽高柳庸一郎【監事】▽安齋正一▽稲葉千代吉【参与】▽長野暢夫▽印南武雄▽横尾明幸

東京計量士会総会のようす

つづいて計量功労者表彰がおこなわれ、増永義雄氏、大木朗氏、横田賢亮氏、坂誠太郎氏、坂本和隆氏の5名が受賞した。

総会終了後、同ホテル「龍田の間」で、東京都計量検定所林所長、日本計量振興協会河住専務理事、日本計量史学会内川会長、東京都計量協会清宮会長、北野専務理事、物江事務局長、計量器コンサルタント協会石井会長、日本硝子計量器工業協同組合横山理事長、日本計量新報社横田社長を来賓に迎え懇親会がおこなわれ、盛会裏に終了した。

日本硝子計量器工業協同組合

2017年4月▽7日＝理事会開催。3月理事会議事録の確認、16（平成28）年度決算・17（平成29）年度予算について、「特定水銀使用製品の製造等申請の説明、意見交換会」について。

横山理事長

日本硝子計量器工業協同組合総会のようす

▽21日＝組合会計監査。特定水銀使用製品の製造等申請の説明会。

5月▽12日＝理事会開催。4月理事会議事録の確認、16（平成28）年度決算・17（平成29）年度予算について。

▽19日＝東京計量士会総会。

▽23日＝日本計量機器工業連合会総会。計量機器事業振興功労者表彰式がおこなわれ、㈲滋賀計量器製作所・井花定樹氏が受賞。

▽25日＝日本計量振興協会総会。日計振協会会長表彰がおこなわれ、㈱渡部計器製作所・渡部洋士氏が受賞。

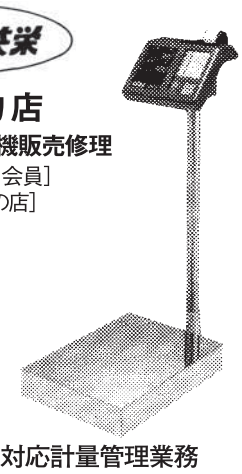
▽30日＝日本硝子計量器工業協同組合第66次通常総会（グランドヒル市ヶ谷）。16（平成28）年度事業報告・決算報告、17（平成29）年度事業計画・収支予算計画。

▽31日＝東京都中小企業団体中央会総会。

CAMPBELL SCIENTIFIC, INC.
CAMPBELL SCIENTIFIC,INC,
各種データロガー、センサー、ウェザーステーション、各種測定システム
Sentek technologies
Sentek Sensor Technologies
プロファイル土壌水分センサー各種
日本総代理店

おかげさまで創立80周年を迎えました。
太陽計器株式会社
http://www.taiyokeiki.co.jp
営業本部 〒114-0032 東京都北区中十条 1-12-3
電話 03-5963-5361 FAX 03-5963-5362

ハカリは共栄
(寺岡)デジコンポ特約店
各種計量器・計測器・ラベラー機販売修理
［全国計量器販売事業者連合会・会員］
［認定計量器コンサルタント有資格者の店］
共栄衡器株式会社
東京都足立区千住河原町45-6
TEL 03(3882) 8101（代）
FAX 03(3882) 8172
E-mail : sales@kyoei-koki.com
URL : http://www.kyoei-koki.com
保守管理・代行検査業務・ISO対応計量管理業務



トラックスケール・計量装置を総合サポート

確かな技術力！現場の声を生かします
WK WORK SCALE
株式会社 ワーク衡業
東京都江戸川区鹿骨 1-6-8
〒133-0073 TEL 03-3679-0086
FAX 03-3677-5703
ワーク衡業 検索
フリーダイヤル：ワーク キューキューシャ
0120-809-994

日本計量新報読者に限り
計量計測データバンクを無料開放
http://www.keiryou-keisoku.co.jp/
計量計測関連情報を集約、今すぐアクセス！
お問い合わせ先 株式会社 日本計量新報社
〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-11-8 武蔵野ビル4F
TEL03-3295-7871 FAX03-3295-7874 E-mail=mail@keiryou-keisoku.co.jp

計量器のデパート
A&D
新センサーSHSを搭載
分銅内蔵 電子天秤GXシリーズ

SK SATO SATO KEIRYOKI MFG. CO., LTD.
温度・湿度のデータを記憶
データロガー 記憶計® SK-L200THⅡα

SK SATO SATO KEIRYOKI MFG. CO., LTD.
簡単操作で塩分濃度、温度、濁度を測定!
塩分濃度計SK-5S

ご用命は
全国計量器販売事業者連合会・会員
株式会社 三友産業社
〒103-0023 東京都中央区日本橋本町4-5-13
電話 03-3241-1824・7016
FAX 03-3241-3036

都検定所
夏のイベントを開催
親子はかり教室と計量展示室公開

東京都計量検定所では計量制度の普及啓発事業として、また計量検定所の業務を広く知ってもらうため、毎年恒例の夏のイベント「親子はかり教室」と「計量展示室の特別展示」を、次のとおり実施する。

(1)親子はかり教室

夏休みのひと時を親子で体験する参加型イベント。計量器の工作や、一般の方々の目に触れる機会が少ない特定計量器の検定・検査施設の見学を通して、計量制度および検定所業務の理解を深めることを目的として実施。

①計量器の工作＝「棒はかり」の組み立てと完成後の確認（標準分銅等を使用した簡易な動作確認）の体験。

②特定計量器の検定・検査施設の見学＝質量計、温度計、体温計、騒音計および振動レベル計等の検定・検査施設の見学と、各施設において検定検査の体験やクイズ等を実施。

【日時】▽第1回＝8月21日(月)▽第2回＝8月22日(火)▽第3回＝8月23日(水)いずれも13時30分から16時まで

【対象】都内在住の小学生と保護者。各回とも21組42名（合計63組126名）、応募者多数の場合は抽選。

【申込方法】往復はがきに住所・氏名（保護者と小学生、小学生のふりがな）・学年・電話番号と第1、第2希望日を記入のうえ7月25日(火)までに計量検定所へ郵送（当日消印有効）。

【参加者の決定】8月上旬に申込者全員に通知予定。

施設見学（昨年度）

はかりの工作（昨年度）

(2)計量展示室の特別展示

計量検定所2階の計量展示室において、夏休み期間の特別展示として、東京都計量検定所が所蔵する歴史的な珍しいはかりを展示。

なお、江戸時代から現代までのさまざまな計量器・文献等もあわせて展示。

また、計量体験コーナー（計量感覚ゲーム等）を設置し、ゲーム感覚で計量に接する機会を設ける。

【特別展示期間】8月1日(火)～8月31日(木)10時～16時（土曜・日曜・祝日を除く）※事前申し込みは不要

(3)実施場所

（親子はかり教室、計量展示室の特別展示共通）〒136－0075、江東区新砂3－3－41、東京都計量検定所（地下鉄東西線南砂町駅3番出口下車徒歩5分）

(4)問い合わせ先

東京都計量検定所管理指導課企画調整担当＝電話03－5617－6643

出前計量教室
6月～来年2月まで

出前計量教室とは、計量の専門家である計量士が小学校へ出向き、〝はかること〟についてのお話と工作（一部お話のみ）をおこなう。小学校における計量に関する学習を支援するとともに、計量制度の重要性について普及啓発を図ることを目的としている。

以前の出前教室のようす

対象校は都内公立小学校とし、募集は東京都教育庁を通じておこなっている。実施については東京都計量検定所が主体となり、東京都計量協会、東京計量士会および日本硝子計量器工業協同組合の3者が協力支援する形をとっている。

実施内容は、中学年を対象に、①「いろんな温度をはかろう」と題したお話と寒暖計の工作および温度測定実験。高学年を対象にした、②「棒はかりをつくろう」と題したお話と棒はかりの工作および質量測定実験。同じく高学年を対象とした、③「単位計量の話」と題した1メートルの起源などを中心とした単位の歴史や雑学などのお話。④「売ってる物の重さ調べ」と題した商品内容量の考えとその計量方法のお話。以上の4授業がある。

昨年度は、6校11クラス実施し（6学年3クラス、5学年2クラス、4学年6クラスの計297名）、学校の先生方からは、「棒はかりの正確さと、量る楽しさに子供たちが生き生きとしていたのが印象的でした。」「水1ℓが1kgであることも知らなかった子供たちが、重さに興味を持ち、調べてみたいと感じる時間でした。」などの意見をいただき、児童からは、「昔の時間の調べ方や温度計の歴史がすごいと思いました。いろいろな物の温度を測るのが楽しかったです。」（4年）、「こんなに簡単に重さを計るものができるなんて思っていなかった。昔の人は工夫がすごいなあと感じました。」（5年）、「今までは値段だけを見て買っていたけれど、これからは今日習ったことを取り入れて買い物をしようと思いました。」（6年）などの感想があった。

今年度も下記の期間で実施していく。

【実施期間】2017（平成29）年6月から18（平成30）年2月まで。

【問い合わせ先】〒136－0075、江東区新砂3－3－41、東京都計量検定所管理指導課企画調整担当＝電話03－5617－6643

計量器コンサルタント協会
研究発表会と定時総会開く

石井会長

計量器コンサルタント協会は2017（平成29）年度の定時総会を6月7日に開催した。

会場はホテルグランドヒル市ヶ谷。当協会は定時総会の前段として研修講演会を開催する習わしで、今回は東京都計量協会で専務理事を務める北野氏が講師となり計量法の改正」にともなう最新情報を自己研究発表という形で実施した。計量法は昨年開催された計量行政審議会を経て「今後の計量行政の在り方－次なる10年に向けて」を旗頭に時代に即した改正がおこなわれていくことになる。今年6月から具体的な政省令が打ち出されてくるが、導入期における現場やユーザーの混乱を避けるためにも最新情報を的確に発信していく必要があり今回の講演を依頼した。

定時総会は、来賓に日本計量振興協会の加藤氏、東京都計量協会の清宮会長、東京計量士会の檜林氏をお招きし定刻通りにスタートした。出席18名、委任状34名合計54名となり総会成立報告につぎ、定款に基づき石井会長が議長席についた。第1号議案の16（平成28）年度の活動報告と収支決算報告が八木副会長からなされ満場一致で承認された。次いで報告事項として17（平成29）年度の活動計画ならびに予算説明があった。今年度より東京都計量協会への事務委託手数料の見直しをおこない改定するとの補足説明があった。基本活動計画としては会員向けの研修会、見学会の企画立案をはじめ、他計量関連団体との共同開催や情報交換を課題とした。特に計量器コンサルタントの資格取得研修会について日本計量振興協会、東京都計量協会と連携し関東エリアでの開催を目指すこととした。総会終了後は同ホテル内で懇親会を開き会員相互の情報交換および親睦を図った。

北野氏が講師を務める研究発表会

計量器コンサルタント協会
研修見学会募集
7月6日(木)に開催

計量器コンサルタント協会は2017（平成29）年度の第1回研修見学会を7月6日(木)に開催する。今回は、昨今話題のジェネリック薬品の大手「沢井製薬」の関東工場を訪ねる。

ジェネリック薬品とは、新薬（先発医薬品）の特許が切れたあとに販売される、新薬と同じ有効成分、同じ効き目の価格の安い薬のことで「一般的な」という意味があり、一般的に広く使用され、効能や安全性が確立された医薬品の事を言う。沢井製薬の関東工場は2013年に完成した最新工場であり、最新の設備と技術を見学することができる。当日は、もう1カ所「サッポロビール」千葉工場見学もおこなう。今回は南極観測船「SHIRASE500 2」の船内見学を含む黒ラベルコラボツアーをおこなう。ツアー終了以後には、施設内のビール園で懇親会（会費有料）も予定されている。当日は貸切のマイクロバスで移動する関係で参加人数は25名に限定しており、申し込みは先着順となっている。（詳細は当協会ホームページを参照）

お知らせとお願い

この「特集・とうきょうの計量」は隔月（偶数月）に発行し、東京都計量協会の会報に代わるものとして全会員に配布しております。会員皆様のご投稿・ご意見・ご質問のほか、各部会等の動きなど是非お寄せ下さるよう、ご支援をお願いいたします。

【編集委員（50音順）】▽石井康二▽大木朗▽北野芳男▽坂本雅広▽高田慎吾▽高松宏之▽竹内健治▽竹添雅雄▽奈良広一▽物江稔▽横山守二

（一社）東京都計量協会☎03－6666－8960

計量計測の関連記事が一番早く
読めるのは・・・
専門新聞「日本計量新報」（週刊）
ご購読、お問い合わせは下記まで
株式会社日本計量新報社
〒101-0054 東京都千代田区神田錦町 3-11-8　武蔵野ビル
電話 03-3295-7871　FAX03-3295-7874
E-mail:mail@keiryou-keisoku.co.jp